

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-23	川喜多映画記念館等管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	文化課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	映画や映像文化の発信拠点である川喜多映画記念館及び旧川喜多邸の別邸であった旧和辻邸の適正な管理運営を図るため。
効果	訪れた市民などが、川喜多夫妻の功績にふれながら、映画の資料や鎌倉の風情を楽しむことにより文化意識の醸成を図る。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

・指定管理者制度により、川喜多映画記念館等の効率的な管理運営を行った。
・指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	川喜多映画記念館等管理運営事業	川喜多映画記念館指定管理料、危険木等処理業務委託料等	来館者数(人)	18,593 / 18,000	18,000	18,000	103%
				35,216 / 35,400	35,400	36,056	
02	川喜多映画記念館等維持修繕事業	維持修繕料	-	- / -	-	-	-
				3,819 / 3,829	3,829	2,000	-
03	リスク分担金(市民無料化、インボイス制度対応)	市民無料化、インボイス制度対応に係るリスク分担金	-	- / -	-	-	-
				383 / 1,137	1,137	426	-
04	自動体外式除細動器賃貸借	賃貸借料	-	- / -	-	-	-
				49 / 50	50	50	-
05	一般事務経費	消耗品費	-	- / -	-	-	-
				97 / 105	105	105	-
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	3 / 3	3	3	
			一般財源	39,561 / 40,518	40,518	38,634	
		事業費の合計(千円)		39,564 / 40,521	40,521	38,637	
		人件費(千円)			6,077	6,234	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	川喜多映画記念館等管理運営事業	適切な運営と企画展示により、目標を上回った。	指定管理者の専門性等を生かし、文化活動の支援及び推進に寄与する。	定期的な事務打合せ及び意見交換を継続し、指定管理者と意思疎通を図り、適正な施設運営を行っていく。
02	川喜多映画記念館等維持修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
03	リスク分担金(市民無料化、インボイス制度対応)	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	より多くの市民に地域の歴史・文化に触れる機会を創出し、次世代へとつないでいくため。	-
04	自動体外式除細動器賃貸借	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
05	一般事務経費	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	館の適切な運営のため。	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
			協働実施済の場合のパートナー 市民、市民団体等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
効率性については、今期指定管理者の選定を実施した際、指定管理料を削減して公募したため当面は「事業費の削減余地」は「なし」と考えている。 川喜多映画記念館は全国的に見ても数少ない映画文化の発信拠点である。また、旧和辻邸は景観重要建造物に指定され、春・秋の一般公開のほか、芸術家の作品展示等の場としても活用し、観覧の機会を提供している。 市民等との協働に関して、企画段階から市民等の参画を得て事業を実施しており、協働関係が構築されている。 令和5年度の来館者数は、目標値を上回った。 今後も、引き続き、映画文化発信拠点として更なる事業の充実を図りつつ、新しい生活様式に合わせた安定した運営のあり方を模索していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	利用料金収入(円)						単位	円
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
指定管理者からの提案による数値目標(指定管理期間が令和6年度までのため、目標も令和6年度までとしている。)	目標値	13,291,000	14,007,000	14,126,000	14,674,000	15,122,000		
	実績値	6,038,240	8,141,570	8,155,690	10,375,070			
	達成率	45.4%	58.6%	57.7%	70.7%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	総来館者数(R5)・1日平均来館者数							
団体名	鎌倉市	神戸映画資料館	羽島市映画資料館	下関市立近代先人顕彰館 (田中絹代ぶんなか館)				
他市実績	18,593人	7,126人	6,133人	7,503人				
	62人／日	27人／日	20人／日	29人／日				

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	鎌倉市川喜多映画記念館と同様に、映画資料の展示及び上映を行う他施設の状況を把握することにより、客観的に評価を行うために比較を行っている。他施設の来館者数を比較すると、1日の来館者数平均は他施設と比較して多いことが分かる。
--------------------------	--